

図工科年間指導計画

第4学年

学習目標

- (1) 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。
- (3) 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚を高めるようにする。

授業の工夫

児童が図工の学習は「楽しいもの」・「喜びを味わえるもの」という実感をもつことができるような授業を心がけていきたいと思ひます。そのために実態にあった題材を選ぶとともに、子どもたち個々の思いを大切に活動を組み立てていきます。

また、子どもたちが手などを働かせてものをつくる機会が減少しているという現状をふまえ、ものをつくる時間も十分に確保するようにしていきたいと思ひます。

年間授業計画

月	単元名	時数		
4	キラキラ光る絵	4	<p>〔評価の観点〕</p> <p>【造形への関心・意欲・態度】 自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもってみるなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。</p> <p>【創造的な技能】 手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。</p> <p>【鑑賞の能力】 自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。</p>	
5	教科書美術館 よく見てかこう	4		
6	絵を描く会	8		
7	粘土	4		
9	ほったりすったり	4		
10	ほったりすったり	8		
11	くねくねなんだ 主人公になって	8		
12	ポップアップカード	4		
1	ひみつのすみか	4		<p>〔評価の方法〕</p> <p>単元ごとの作品を中心に、学習態度や鑑賞など普段の学習の様子を加味して評価をします。</p>
2	ひみつのすみか	8		
3	だんだんめいる	4		
年間授業時数		60		